

知財支援フォーラム in 北九州

—「モノの発見あれこれ」と「模倣品の根絶対策」—

参加料無料
定員 150 名

日時

平成 21 年 ◆ 13:00 ~ 16:30 ◆

11月27日(金)

会場

ホテルクラウンパレス小倉
3階「ダイヤモンドホール」

福岡県北九州市小倉北区馬借 1-2-1 TEL. 093 (511) 4111
※裏面に地図を掲載しています。

◆ 開催主旨 ◆

近年、知的財産を活用した地域の産業経済の活性化が求められています。日本弁理士会及び日本弁理士会九州支部は、九州におきまして、自治体等の公的機関、団体と連携して平成 17 年から 20 年に（鹿児島市、大分市、福岡市、熊本市）の 4 箇所で「知財支援フォーラム」を開催しました。各フォーラムとも多数の来場者がありました。

本年度は、北九州市が独自の知的財産支援施策を構築し、地域中小・ベンチャー企業等への積極的な支援活動を展開されているなど、活発な知財活動を行っていらっしゃるから同市で開催することに致しました。

知的財産を活用した中小・ベンチャー企業の経営戦略、商標権等の模倣品対策について、実務的・専門的に解説し理解を深めていただきたいと思います。

◆第1部◆ 13:10 ~ 14:25

「ピンチの時の技術経営」

～穴場技術の発見法～

講師 三木 弼一 氏

（元 松下電器産業株式会社（現パナソニック）技術担当専務取締役）

1962 年 京都大学工学部電気工学科卒業、同年松下電器産業株式会社（現パナソニック）へ入社、2001 年 6 月代表取締役専務就任、技術品質・環境担当、知的財産権担当、海外研究所担当。2003 年～ 2005 年関西経済連合会 知的財産部会部会長、2005 年国際電気標準会議 評議会 日本代表に就任。著書として、「MPEG-4 のすべて ～ 多彩な映像、音声を自在に符号化する」がある。

◆第2部◆ 14:45 ~ 16:15

「模倣品対策」

～中国における模倣品対策～

講師 谷口 由記 氏

（弁護士・弁理士）

1974 年 関西大学法学部卒業、1980 年 弁護士登録、1989 年 弁理士登録、1999 年～ 2000 年 北京外国語大学・北京大学・復旦大学留学（短期）、弁護士法人フラーレン（大阪）パートナー弁護士、2003 年 上海に法律事務所開設、2008 年 吉備国際大学大学院教授、中国知的財産権問題を中心に、日本と上海を往復し、中国へ進出する日系企業のサポートを展開している。

対象者／企業、団体（知財関係団体）、大学等教育機関、学生、一般

主 催／日本弁理士会 日本弁理士会九州支部 共 催／北九州市

後 援／特許庁、九州経済産業局、福岡県、（財）北九州産業学術推進機構、北九州商工会議所、（独）中小企業基盤整備機構九州支部、福岡県中小企業団体中央会、（社）発明協会福岡県支部、九州工業大学、（社）九州機械工業振興会、北九州市農業協同組合（以上予定）